

| | | | |
|---------------------|------------|-------------------------|-----------------------------------|
| 上田仮説サークルニュース | | 8月例会 | 2017.08号 |
| 編集責任 | 遠藤 裕 | | 発行2017.9.23 |
| 〒383-0041 | 中野市岩船426-3 | サカゲン中野 B-G | TEL 0269-23-2847 携帯 090-1406-9115 |
| | メール | endo-h@cronos.ocn.ne.jp | 勤務先 長野工業高校 TEL 026-227-8555 |

8月26日(土) 上田中央公民館 3F第1・第2学習室



午後 3:00 ~ 9:30

参加者数7名

資料総ページ 201 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 渡辺規夫さん, 北村知子さん,
池田みち子さん, 北村秀夫さん, 遠藤裕

はじめに 8月例会の参加者は7名。

レポートは, 柳沢さんから15本, 増田さんから2本, 渡辺さんから3本。合計は20本。総ページ数はなんと201ページ。

柳沢さんは, 読書メモや新聞記事などからの資料を紹介。105ページ分です。

増田さんは<今月の本紹介19><信州岩波講座2017>。

渡辺さんは<就職活動の記録><わくわく科学教室><板倉論文を読む>。

柳沢さんは, 気体の分子運動を目で見る実験を実演してくれました。準備をありがとうございました。また, 鉄の展示館(坂城町)で開かれている「大相撲と日本刀」のパンフレットを紹介してくれました。

今回も資料発表がたくさんあり, 終了は10時近くになりました。

終了後, 「サイゼリア」で夕食会。

1. 発表資料

① サークルニュース 8月例会 遠藤 裕 (14ペ)

1. 発表資料

① サークルニュース 6月例会 遠藤 裕 (10ペ)

② 玉田泰太郎先生(故人)の授業に学ぶ(その1) 田中浩寿さん(7ペ)

③ 読書メモ2017年7月号 柳沢克央さん(108ペ)

うえたに夫婦著『ビーカーくんとそのなかまたち』(誠文堂新光社)ほか

④ 紹介: 伊丹十三と「戦後精神」 柳沢克央さん(28ペ)

ブログ「内田樹の研究室」からの紹介。

⑤ 紹介: 信毎記事 柳沢克央さん(1ペ)

信濃毎日新聞(7月8日付)のコラムの紹介。柳沢さんのコメントあり。

⑥ 紹介: 朝日新聞記事 サザエさんをさがして 柳沢克央さん(1ペ)

朝日新聞（土曜版 2017.7.8）の「サザエさんをさがして」の紹介。

- ⑦ 紹介：信毎柳壇 柳沢克央さん（2ペ）
信濃毎日新聞の信毎柳壇に掲載された柳沢さんの句の紹介。
- ⑧ 紹介：「できる」と言えば、できる。「できない」と言うから、できない 柳沢克央さん（2ペ）
宮本真由美著『斉藤一人・すべてがうまくいく魔法の言葉』より紹介。
- ⑨ 紹介：人のとりつくるた外面を、いかに外すか 柳沢克央さん（2ペ）
守屋淳著『ビジネスに絶対使える《論語》入門』（PHP 研究所・2017）より紹介。
- ⑩ 紹介：星野リゾート代表、「僕は採用面接をしない。判断できないので」 柳沢克央さん（4ペ）
「わが経営」を語る 星野佳路星野リゾート代表に聞く(3)の紹介。
- ⑪ <信州イスラーム世界勉強会③> 増田伸夫さん（8ペ）
松本市での連続講座の講義メモ。（2017/6/17(土)1:30~4:30）
- ⑫ <今月の旅行9> 今月の旅行：スペイン 増田伸夫さん（3 2ペ）
（バルセロナ～セビージャ～コルドバ～グラナダ～マドリード～トレド）
- ⑬ タマネギの根端細胞・細胞分裂の観察 北村知子さん（4ペ）
タマネギの根端細胞・細胞分裂の観察，写真の紹介。
- ⑭ 科学史研究と仮説実験授業 渡辺規夫さん（6ペ）
一板倉先生の科学史研究を再評価する試みー
- ⑮ 山田正男さんのレポートにある立体をビー玉で作ってみました 高見沢一男さん（6ペ）
高見沢さんが作った「おだんごパズル」の紹介。
- ⑯ 《もしも原子が見えたなら》感想 北村知子さん（4ペ）
《もしも原子が見えたなら》の授業の感想の紹介。
- ⑰ <信州イスラーム世界勉強会④> 増田伸夫さん（8ペ）
松本市での連続講座の講義メモ。（2017/7/15(土)1:30~4:30）

② 読書メモ2017年8月号 柳沢克央さん（6 4 ペ）

加藤陽子著『戦争まで一歴史を決めた交渉と日本の失敗』（朝日出版）ほか

柳沢さんが読んだ本の紹介。

◇はじめに

先月号の「読書メモ」と同様，サークルで発表することを目的とすると，読書がはかどるので，今回もこのメモを作成しました。自身のため，記録を残すことが第一目的です。みなさま，よろしく（適当に）おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり，引用あり，要約あり，感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。（私物）と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校図書室蔵書。

私物の「積ん読」本が増え「読書予定リスト」は以前にも増して充実しています。この夏休みに出来る限り「消化吸收」を進めていく予定です。

◇読書記録または読書メモ（順不同）

- ◎高橋順子著『夫・車谷長吉』(文藝春秋・2017年)
- ◎ビートたけし著『日本人改造論』(角川新書・2014年)
- ◎21世紀研究会編『常識の世界地図』(文春新書・2001年)

- ◎岸井成格著『議員の品格』(マイナビ新書・2016年)
- ◎エドワード・スノーデン他著『スノーデン 日本への警告』(集英社新書・2017年)
- ◎立川談志著『努力とは馬鹿に恵えた夢である』(新潮社・2014年)(私物)
- ◎広瀬和生著『談志の十八番一必聴!名演・名盤ガイド』(光文社新書・2013年)(私物)
- ◎加藤陽子著『戦争まで一歴史を決めた交渉と日本の失敗』(朝日出版社・2016年)
- ◎内田樹著『日本の覚醒のために(内田樹講演集)』(晶文社・2017年)(私物)
- ◎春日太一著『なぜ時代劇は減びるのか』(新潮新書・2014年)(私物)
- ◎岩城宏之著『棒ふりの休日』(文藝春秋・1979年・ハードカバー第3刷・1981年)
- ◎ジム・ドノヴァン著・弓場隆訳『何をしてもうまくいく人のシンプルな習慣』(ディスカヴァー・トゥエンティワン・2016年)
- ◎立川談志著・和田尚久構成『立川談志まくらコレクション』(竹書房文庫・2015年)(私物)
- ◎山本益博著『立川談志を聴け』(小学館文庫プレジデントセレクト・2017年)(私物)
- ◎立川談志著『談志楽屋囁』(文春文庫・1990年)(私物)
- ◎読売新聞世論調査部編『USO放送一世相を斬る三行の風刺一』(中公文庫・2014年)
- ◎中野雄著『ストラディヴァリとガールネリーヴァイオリン千年の夢一』(文春新書・2017年)

◇次回以降の予告 24冊

◆まとめ・つぶやきなど ほんの一部掲載

研究室でBGMのCDをかけながらエクセルの表の編集や紙折りなどを行い、かなりはかどる。昼休みに川柳「火星とは遠くにありて思うもの」(北朝鮮の弾道ミサイル)を思いつく。朝日川柳風の味わいがありそうだ。忘れないうちに手帳に記入し、帰宅したら一番で朝日川柳に応募するつもり。予定どおり、「読書メモ8月号」を脱稿し、これから印刷製本作業に入る。

*

最後までおつきあいいただき、ありがとうございました。次回9月分の執筆に今日中に取りかかる予定。(終) [2017年8月18日(金)14:00脱稿]

(読書メモの内容もさることながら、前回に引き続き「まとめ・つぶやきなど」がとても充実しています。64ページにおよぶ大作です。 エンド)

③ 夏休み明けて最初の授業では・・・ 柳沢克央さん (3ペ)

－8月23日(水)の授業でやったこと。進路について根源的に考える－

◆夏休み明け最初の授業で何を話すか

夏休みが終わった。最初の授業で3年生にどんなことを話そうか、思案のしどころがある。「明日は実力テストだから、テスト勉強をしよう。自習!」で済ましてもいいが、何か味気ない。「私が生徒だったらどうだろう?」と考えてみると、やはり、何か人生

の糧になるような話が聴きたいと自分では思う。

幸い、生徒たちに伝えたいことは、夏休み中にいくつか用意できている。サークルで発表する前に、生徒たちに伝えてみるのも良いだろうと思い、プリントを増し刷りした。

◆実施してみたこと

①佐々木常夫著『人を動かすリーダーに大切な 40 の習慣』（PHP 研究所・2013 年）から見開き 2 ページ「仕事の進め方 10 カ条」紹介。（受験勉強などに広く応用できるのではないか…という仮説を持ったので）

② tora 氏のブログ「株式日記と経済展望」（どちらかというとも昔の「右派」の雰囲気があるブログ。私はこの 1 年、継続してチェックしている）（2017 年 7 月 9 日）から、「進学は金銭的価値が重視される時代に」という内容の紹介。（進路選択のために、生徒本人も保護者たちも一度は目を通しておいた方がよいのではないか…という仮説を持ったので）

③柳沢克央作「進路実現のためのチェックリスト 43 項目」（A4 判 1 枚）。いちいち読まずに、「できる人はチェックを入れてみて」と軽く投げかける程度とした。

*

以上の 3 つは「(主として) 大学等の受験のために役立つ (だろう)」という共通の「ねらい」がある。しかし、見かけはそれぞれみごとに異なっているので、多面的に受け止めてもらえるのではないかという仮説を持っていた。

A5 判の白紙を配布して、生徒たちに感想を書いてもらった。（休み明けの雰囲気に合わせて、気楽に）

◆なかなか素晴らしい感想を書いてもらえた（…と思う）

感想記述時間は様子を見ながら 7 分程度。教壇からながめ渡した感触では、生徒全体として「書きっぷり」が極めて良い。

予想を超える素晴らしい感想があったので、各講座で 3 枚前後、朗読して紹介した。

夏休み明け、3 年生となかなか良いスタートが切れたようだと思えた。3 種類のプリントと時間さえあれば、誰でも追試できます。実施のタイミングは必ずしも夏休み明けに限りません。たぶん応用が利くはずですよ。よろしかったら、あなたもどうですか。

（「生徒に伝えたいこと」として、「大学受験に役立つ」3 つの資料を読んでもらい、感想を書いてもらうという実践。授業が一段落したときに、おすすめですよ。 エドワ）

④ 授業感想文集 柳沢克央さん（12 ペ）

理系 3 講座より 24 名分の授業の感想の紹介。

「夏休み明けて最初の授業では…」の授業の感想。

<感想より> チェックリストやってみたら 31 こにチェックがつかしました。自分の

中では割といい方だと思いました。(笑) 私は高1で大学を決め、高2から死ぬ気で頑張りました。ブレそうな時は大学のパンフレットをみたり、リフレッシュしたりしてなんとか頑張っ、もうじき夢が実現できそうです。いつも「今日の(勉強)メニューは何にしようかな〜」って考えてから勉強してます。その通りにいった日なんかほとんどないです…。でもそれでいいのだと今日先生の話聞いて思いました。私は将来のことも考えてしっかり進路を決めて、早い段階から準備してきました。私はAIにはできなくて、かつ、理系にしかできないことを考えて進路を決めました。あと何十年経ったらこうしようとかも考えてます。ここまで考えてきたのだからもっと自分に自信もとうって今日のお話を聞いて思いました。参考になりました!ありがとうございました!!

(「大学受験に役立つ」3つの資料を読んだ感想の紹介。生徒さんの感想を読むと、進路実現に向けて真剣に考え取り組んでいる姿がうかがえます。 エドワ)

⑤ 補習に来た人のみ教える受験^⑧メモ 柳沢克央さん (1ペ)

補習に来た生徒に配布した受験生向けのメモ。

①問題には3種類 A.基本問題 B.差がつく問題 C.難問・奇問

センターでも二次でも A 完答 + B の 2/3 だけ解ければほぼ合格圏である!!(難関大は別)

②信大工・繊維はセンター80点取れば十分。

③センター化学で大学受験を目指す者は最低60点を取ることを目標とせよ。

④『リード Light ノート化学』+『チック&演習化学』を繰り返して解くだけで、ほとんどの場合、②、③はクリアできる。

⑤失敗する者のほとんどは④ができていないのである。または、何して良いか分からないまま試験日を迎えているだけなのである。(補足 過去問演習は必須である)

結論 何をすれば良いかが分かったら、あとは実行するだけ。ヘンリー・フォードの言葉「できると思うにせよ、できないと思うにせよ、その通りになる」

(受験生に向けての具体的なアドバイス。受験生は目標がはっきりすることで、継続して受験勉強に取り組めそうです。 エドワ)

⑥ 竹内三郎さんと私の「落語論」通信 柳沢克央さん (4ペ)

柳沢さんと竹内三郎さん(仮説社)の「落語論」についてのメール交換の紹介。

[往信・柳沢さんから竹内さんへ] 「仮説社史上最大の祭」や湯の谷の「心円祭」などで落語が披露されていて、その意義について柳沢さんは次のように書いています。「落語を聞く(鑑賞する)ことによって、私たちの仕事の意義をもう一度見つめ直すことが大切なのである」

〔返信・竹内さんから柳沢さんへ〕 竹内さんからの返信は「落語」についてのみの内容で、本当に落語が好きな竹内さんの思いが伝わってきます。自己紹介でしばしば「私は、〈落語の骨格〉に〈儒教の皮肉〉をかぶり、〈科学の上着〉をちょっと引っかけているだけです」というようなことを言っているとのこと。

（「落語」をもとに人生を語る。本当に好きなことというのは、それだけで人生が語れるんですね。
エンドリ）

⑦ ブラームスのCDを聴き比べて 柳沢克央さん（1ペ）

ブラームス「ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 77(1878年)」のCDを聴き比べた一覧表の紹介。

11人のソロ・ヴァイオリン者ごとに16項目が整理されていて、寸評も書かれています。

◆作成者のひとこと

「ヴァイオリン協奏曲を一曲だけ選ぶとしたら？」と問われたとしたら、今の私なら迷わずこの曲を挙げる。熱い情感と深い精神性に満ち溢れると同時に、高度な技巧も楽しめる名曲である。季節の「秋」にも、「人生の秋」にもよく似合う曲。今年に入ってなぜか急速にCDが集まった。CDで音楽を聴く時代も終わりつつあるようだから、この機会にまとめておくことにした。こうしてCDになっているということは、いずれも名演奏であるということであり、たしかに優劣はつけがたい。ただ、極めて高い水準であるが、それぞれに特徴があることも確か。印象が強く残っているうちに、夏休みの自由研究のつもりで一覧表にしておくことにした。何かの参考になれば幸い。よろしければ、あなたの好きな曲（お薦めの曲）や、演奏について教えてください。2017年8月現在、グリムオー盤以外、入手は比較的容易。

（CD11枚の比較。すごいエネルギーをかけた資料です。好きなことにかけるエネルギーは苦にならない？ エンドリ）

⑧ 紹介：「定年後の暮らしを楽しむためには」 柳沢克央さん（1ペ）

信濃毎日新聞「建設標」（2017年8月5日付）のコラムからの紹介。

一般的には定年を節目に周りの環境が大きく変わる。特に男性は、いったん社会から離れると自分の居場所がないように思える。そのため定年後を見据えて、40代後半から少しずつやりたいことを見つけて、準備していくことが大事だ。（長野市 林正昭）

＜柳沢さんのひとこと＞ 私も今のうちから定年後を見据えて準備する必要があるだろうと、何となく感じているところである。①人とのつながり ②経済的な安定 ③衣食住の安定、などが大切だろうと思う。他にどんなことに注意した方が良いか、色々

ご教示頂ければ幸いです。

(私も人ごとではありません。サークルには大先輩もおられますので良きアドバイスを！ エンドウ)

⑨ 紹介：本物を見極める目…「いい物・偉い人に触れる」 柳沢克央さん (4 ペ)

古美術鑑定家・中島誠之助さん

日本経済新聞 (夕刊 22016/3/22) より紹介。

◇心がけているのは「絹着て、ボロ着て、木綿着ず」

◇ニセモノは社会のスパイスだと思いますよ

◇現代作家の作品集め応援 お宝は拾った石ころ (シニア・エディター平田浩司)

*

◆紹介者のひとこと

少し前に「例の番組で中島誠之助さんが偽物と本物とを間違えたい」ということが話題になった。それ以前に発表されていた記事のひとつがこれ。

中島さんが施された「骨董屋の小僧の仕込み」の方法は牧衷さんがどこかで話していたやり方そのもの。「幼いときから本物、良いものだけを見せて育てる」というやり方。

それでも、偽者を掴まされることがあるというのが何とも人間らしい。

「中島誠之助さんでも間違えることがある」ということがニュースになるだけで、逆に「普段、どれだけ間違っていないか…、間違いは極めて少ないのだ」ということが推し量れる気がするのは私だけか。

「いい音楽を聴き、いい本を読み、常に最高の水準に接して感性を高めておくことが一番の基礎になる」。じっくりと「追試」していきたい、ずっしりと重みのある言葉であると思うのだが、どうだろうか。

(「本物を見極める目」…年を重ねてくると、大切なことだと改めて思います。 エンドウ)

⑩ Y君の数学勉強法 柳沢克央さん (2 ペ)

今は理科の教師をしている Y 君 (高校 1 年) の数学勉強法。

どのようにして Y 君が数学ができるようになったかのお話。

(生徒さんに勉強の仕方を考えてもらうきっかけになる資料です。良き友が大切？ エンドウ)

⑪ 新聞記事の紹介 柳沢克央さん (2 ペ)

◇信濃毎日新聞 (2017 年 7 月 23 日)

①地方テレビ局報道 奮闘の記録 『富山市議はなぜ 14 人も辞めたのか』

チューリップテレビ謝罪班著 岩波書店 1944 円

② 困難の起源 歴史通じ明らかに『象徴天皇制の成立』

茶屋 誠一著 NHK ブックス 1728 円

◇ 毎日新聞 (2017 年 7 月 30 日)

① 脱 大日本主義 「成熟の時代」の国のかたち 鳩山友紀夫著 (平凡社新書・864 円)

中島岳志 評 東アジアと連携する中規模国家に

② 人生相談 立川談四楼 「治安悪化」は印象操作では

③ 仲畑流万能川柳

柳沢さん コンビニでいつも読んでいるものと違う新聞を買って読んでみると、面白い記事に出逢うことがある。

(新聞で紹介されている書評も、読む本を選択するときの参考になります。 エドワ)

⑫ 紹介：ブレないリーダーになるためのちょっとした習慣 柳沢克央さん (1 ペ)

佐々木常夫著『図解 人を動かすリーダーに大切な 40 の習慣』(PHP 研究所・2013 年)より紹介。

- ・ 仕事に対する自分の信念を文章化しよう
- ・ 毎年年頭所感を書いているとブレない自分ができる
- ・ 優れたリーダーは自分の思いを言葉にして伝えるのがうまい
- ・ 佐々木流「仕事の進め方 10 か条」

① 計画主義と重点主義 ② 効率主義 ③ フォローアップの徹底 ④ 結果主義 ⑤ シンプル主義 ⑥ 整理整頓主義 ⑦ 常に上位者の視点と視野 ⑧ 自己主張の明確化 ⑨ 自己研鑽 ⑩ 自己中心主義

- ・ 自分の思いや信念を文章化する習慣を身につける

(普段の仕事を進めていく上でも大いに参考になる本のようにです。 エドワ)

⑬ 紹介：エスタナビ 柳沢克央さん (1 ペ)

朝日中高生新聞 (2017.8.6) より紹介。

補習出席者限定の資料。夏休みが始まってしばらくたつこの時期「受験をめざす 3 年生はもちろん、中高生は夏休みの勉強にがんばっているにちがいありません。順調に進んでいますか。それとも…。この時期の取り組みをふり返るときのポイントを解説します。」→計画をチェック、実現できる中味へ

(長期休み、計画は立てるけどダラダラと過ぎてしまいがち。途中で見直す事が大切。 エドワ)

⑭ 紹介：信毎柳壇・朝日川柳 柳沢克央さん (1ペ)

信毎柳壇(7/25, 8/1), 朝日川柳(8/1, 8/3)の紹介。

川柳に「組閣シフト」がありました～投句する側になって気づく「川柳のふしぎ」～
8月3日(木)安倍内閣改造の日。信毎は前の週に6つあった時事川柳が今週は1つに。
朝日はなぜか8月3日(木)は「うそまこと」という課題にあったものを採り上げている。
忖度があるのか？

(投句していると、選者や新聞社の思惑にも敏感になる？ エドワ)

⑮ 「ここが分かれ道だ」「続 〃 」 柳沢克央さん (4ペ)

夏休み前後に高校生に読んでもらうお話。

- ・夏休みを目前にひかえた1年6組の生徒諸君諸嬢へ
- ・夏休みをどうにか(?)終えた1年6組の生徒諸君諸嬢へ

夏休みに生徒にやる気を出させるため、Y先生とX君の夏休み前後の会話が大変面白く描かれています。

(この資料は、先生と生徒の会話で書かれていますが、とてもおもしろいです。 エドワ)

⑯ 紹介：大学を卒業しても正社員になれず、… 柳沢克央さん (4ペ)

ブログ「株式日記と経済展望」より紹介。

大学を卒業しても正社員になれず、奨学金の返済に苦しむ新社会人が多い。そんな思いをさせないために、進学時点での選択が重要になっている。

■国立大学の学費は16年間で6割増加

■進学は金銭的価値が重視される時代に

(今年は高校生の求人がとても多いです。就職するか、進学するか、生徒や保護者の方は慎重な検討が必要です。 エドワ)

⑰ <今月の本紹介19>

増田伸夫さん(40ペ)

〔要約〕イスラームとは神賛美の宗教である！

☆井筒俊彦 著 『『コーラン』を読む』

(岩波現代文庫) 定価：本体1420円(税別)

(2013年2月15日 第1刷発行 2016年2月16日 第5刷発行)

ただし「本書は1983年6月 岩波書店から刊行」とある)

著者(1914～1993)は慶應大学名誉教授(イスラーム学者、東洋思想研究者、言語哲学者)日本で最初の『コーラン』の原典訳を刊行 著書に『神秘哲学』(人文書院)、『イスラーム文化 その根底にあるもの』(岩波文庫)、『イスラーム哲学の原像』(岩波新書)、『意識と本質』(岩波文庫)、など多数

問題の予想を立てながら読む本の紹介。

*

前回読んだ井筒俊彦『イスラーム文化 その根底にあるもの』（岩波文庫）では、イスラーム哲学の権威により＜イスラーム文化はすべて、『コーラン』というただ1冊の書物から解釈学的に出てきたものである＞ことが格調高く語られていた。それで、続けて井筒俊彦の本を読みたくなくなってしまった。本書では、井筒により＜『コーラン』はその独特の世界像や存在意識を十分に理解した上で誦む＞ことの重要性が熱く語られている。今回も講演記録なので、聞き慣れない言葉が多く出てくるものの、全体としてはけっこう読みやすい。設問形式で本の紹介を試みたい。

〔第1講：『コーラン』を読む方法〕

〔第2講：神の顕現〕

〔第3講：神の賛美〕

〔第4講：神の創造と審き〕

〔第5講：『コーラン』のレトリック的構成〕

〔第6講：終末の形象と表現（その1）〕

〔第7講：終末の形象と表現（その2）〕

〔第8講：実存的宗教から歴史的宗教へ〕

〔第9講：「存在の夜」の感触〕

〔第10講：啓示と予言〕

*

＜一言で言えば＞：イスラームは神讚美の宗教

さて、この本の内容を一言で言えば『『コーラン』を表面的ではなく、深く読みたいと思うならば、『コーラン』の世界観を理解したうえで『コーラン』を読まなければならない。『コーラン』の世界観からすると、「存在即慈悲」なのであってそれは人間の側からいえば、「存在即神賛美」ということである。つまり、イスラームとは神賛美（存在即賛美）の宗教なのである」ということになるだろうか。

*

＜唯一神教は（神による）「創造」からはじまる！＞

（無神論者＝私のおおいに穿った見方かもしれないが）＜一神教にはどれも、はじめに（唯一神による）「創造」を信じこませることによって唯一神教に引きずり込む＞という論理構造があるのではないか、と感じた。

つまり、本書にもあるように、神による世界創造を認めてしまえば、「復活は第2の創造」であり、「終末」も「最後の審判」もとても受け入れやすいものとなる。さらに創造主に対する讚美や畏敬の念も自ずと生じてくるということになる。唯一神教はそうやって人々をだまし？、非合理の世界へと引きずり込んできたように思えてならない。

ユダヤ教の聖典『旧約聖書』は「創世記」からはじまり、ヤハウェは一切万物の創造

主であった。キリスト教は、「イエスの復活＝第2の創造」を信じることから始まった。

イスラームは神讃美（存在即讃美）の宗教であるが、それは存在の裏に神の創造が働いているからであった。

本書はイスラームの世界観・心情に立って、（その真偽は別として）現象記述的に『コーラン』を読むことを勧めている。私もそうやって読むことで『コーラン』の世界観・存在意識が少しは理解できたように感じた。しかしその反動からか、最後について無神論者としての思いを述べたくなくなってしまったという次第である。本書は講演記録なので（犬塚清和編『科学と教育のために』のように）読みやすい。皆さんも読めば、イスラーム哲学の権威の格調高いお話にきっと誘い込まれることであろう。（増田）

（増田さんは<本書の要約>も書かれています。 エンドウ）

⑱ <信州岩波講座2017> 講義メモ 増田伸夫さん（8ぺ）

《講演「激変する世界をどう読むか」メモ》

講座Ⅰ（8/5 土）寺島実郎（日本総合研究所会長／TBS「サンデーモーニング」、BS11「寺島実郎の未来先見塾」等）に出演

講演：「激変する世界をどう読むか」（13:30～15:15）

会場からの質問に答えて（15:40～16:40）

① ISと安倍一強政権をもたらした2つの失敗

② 知性（文化力）一つながりを見る力

③ トランプ政権<政治と経済>の輪郭

④ 異次元の高齢化とシルバー・デモクラシー

《会場からの質問に答えて》

<増田さんの感想>

佐藤優や牧さんと同じく、寺島氏からも「もっと勉強したら？」と言われている気がした。

（現代の世界情勢を理解するのに大変参考になる講演だったようです。 エンドウ）

⑲ 就職活動の記録 渡辺規夫さん（4ぺ）

これから退職を迎え、就職活動をするときに参考になる資料。

再任用教諭の5年間が終わろうとしているとき、さらに仮説実験授業をするにはどうしたらいいかを考え、就職活動をすることにしました。

サークル内で退職が近づいている人も少なくないので、参考にいただければと思います。個人情報が含まれるので、部外秘でお願いします。

(私もあと数年で退職。就職活動…なかなか実感が持てないのが実情です。 エドワ)

⑳ 夏休み子ども向け夏季講座 渡辺規夫さん (8ペ)

わくわくが科学教室《もくもく》

「わくわく科学教室」でおこなった講座《もくもく》のアンケート結果と子ども・大人の感想の紹介。

《もくもく》について

《もくもく》はNPO法人楽知ん研究所が研究開発した大道仮説実験講座の教材で、全国各地でやっています。

講座のアンケート結果は、5「とてもたのしかった」が27人、4「たのしかった」が5人。5、4の評価

<子どもの感想>

- ・ドライアイスで雲ができておもしろかったです。ビールやあぶらやグリセリンでどうなるかのじっけんもおもしろかったです。できたら家でやりたいです。(小4)
- ・雲のことやドライアイスのことなどいろいろのことをおしえていただきとてもありがとございます。ぼくはこれをいかしじゅうけんきゅうをしたいとおもっております。
- ・ドライアイスの粉を投げてくもをつくるのとか、アイスをつくって食べたりしたのが楽しかった。くもは水だということがわかった。

<大人の感想>

- ・ドライアイスは危険という知識でしたが、アイスを作ったり、ジュースの中に入れてたりしても害がないことに驚きました。
- ・予想を立てるところ、他の人の予想もたのしいです。次々と実験を発展させるところ。実験結果がたのしいです。
- ・皆のいろいろな意見が聞いて良かった。正しいか間違っているかということよりも、皆の前で意見話すのは素晴らしい事だと思う。

<来年も参加したいと思いますか？>の質問には、32人中参加したい人が26人。

(渡辺さん主催の「科学教室」。参加者は、子どもも大人もとても楽しめたようです。 エドワ)

㊦ 力積か仕事か―板倉論文を読む 渡辺規夫さん (22ペ)

板倉さんの論文を渡辺さんが分かりやすいように解説してくれています。

「おしえて質問箱」回答編
「吹き矢の力学」―「力積」か「仕事」か
より発展性のある科学教育を目指して
板倉研究室 板倉聖宣板倉

渡辺さんは「この論文では、社会の力学まで問題を拡げて考えると、仕事より力積で考える方がいいと結論づけている。しかし、力学をはじめてつくった人たちは、仕事で考えるより、力積で考える方がいいことに気づくことができたので、力学をつくることができたと言える。」と解説しています。

後半は板倉さんの論文について解説をおこなっています。ものの落下の仕方について、アリストテレスやガリレオの考え方の検討がされています。この部分は渡辺さんが分かりやすいように解説をしてくれています。

(少ない発表時間の中で、一通り渡辺さんが解説してくれました。勉強会のようなかたちで、じっくりと時間をかけ理解してみたい内容です。 エンドウ)

2. 実験の紹介 柳沢克央さん

「気体の分子運動を目で見る」実験



あとがき 今9月に入りすっかり秋めいてしまいました。

職場では、就職試験が始まり、そろそろ各会社から採用結果がでるところです。柳沢さんの資料発表にありましたが、高校生の進路を考えると、就

職したほうが良いのか進学したほうが良いのか、当人はもとより保護者の方も悩むところです。

長工は学校生活をがんばっている子はわりと就職を選ぶ傾向にあります。今年は3年生の6割くらいが就職を希望。なんとか全員決まってくれるといいです。

(エンドウ)



★ 今後の予定 ★
10月22日(日)
[9:00~15:00]
11月25日(土)
12月16日(土)